

2022 年度専門学校長野ビジネス外語カレッジ 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2021 年 4 月 1 日
至：2022 年 3 月 31 日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ
学校関係者評価委員会

学校関係者評価の概要と実施状況

専門学校長野ビジネス外語カレッジ学校関係者評価委員会は「2021年度自己点検・自己評価結果」を基に学校関係者評価を行った。その結果を以下のとおり報告する。

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

専門学校 長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価の目的を以下のように定める。

- ①自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②本校と密接に関係する団体、企業の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2) 基本方針

専門学校長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価は、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本方針とする。

3) 委員会運営

2022年度における学校関係者評価委員会は、以下のように年1回開催する。

前半部、学内委員による2021年度（前年度）教育活動報告・運用実績に対する学校自己点検自己評価の結果総括、2022年度事業計画のご説明

後半部、外部委員による評価報告、審議

2. 学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として以下、企業、関係業界に委嘱した。

氏名	所属	
岡田基幸	AREC 浅間リサーチエクステンションセンター	企業・業界団体関係者 評価委員長
石坂大輔	渋温泉小石屋・株式会社ヤドロク	企業・業界団体関係者
林辰幸	林行政書士事務所	企業・業界団体関係者
山崎博昭	上田商工会議所	企業・業界団体関係者

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

2022 年度学校関係者評価委員会		
日時：2022 年 7 月 8 日（金）15：00～16：30		
場所：専門学校長野ビジネス外語カレッジ 4 階大教室		
会議次第		
時間	項目	担当者
15：00	開会挨拶	荻野理事長
15：10	委員紹介	浅野校長
15：15	2022 年事業計画	浅野校長
15：30	2021 年度教育活動成果報告 2021 年度キャリアセンター活動報告	堀内委員 高木委員
15：45	2021 年度学校自己点検自己評価総括	佐藤委員
16：00	審議・意見交換会	
16：30	閉会	

4. 基準項目ごとの学校関係者評価

1 教育理念・目的・育成人材像等

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<p>・グローバル人材を育成する高等教育機関として明言されており、HP・入学案内書にも明確に明示されている。</p> <p>・アフターコロナ／ウィズコロナを見据え、人材育成の視点からの変化・変容も今後議論する必要がある。</p> <p>・昨年度までの報告では留学生をベースとした視点での学校評価であったが、今年度評価においては留学生に限定しない日本人学生も含めた全学生を対象にしているよう見受けられた。コロナ禍においてターゲティングにも大きな影響があったことが推察される。</p> <p>留学生を重視しないというわけではないと考えるので、引き続き日本での就労を目指す外国人留学生の育成機関としての機能を今後も期待する。</p>					

2 学校運営

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・中期事業計画により運営方針が明確に定められている。年間事業計画も部門毎に定められ、アクションプランについて定期的に確認しながら事業を推進していることが伺える。 					

3 教育活動

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムについては、社会のニーズに即しているかどうかを検証すると同時に、学生からの満足度の向上に努める意識も必要不可欠である。 ・アフターコロナ／ウィズコロナを見据え、教育内容の視点からの変化・変容も今後議論していく必要がある。 ・資格取得の義務化(受験必須化)をして就職しやすい状況を作ってあげることが重要と考える。 					

4 教育成果

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・就職決定率が 90%を超え、常に向上が図られているように見受けられる。 					

今後も引き続き企業とのインターンシップ等を積極的に進め、企業との連携を強化していくことが重要である。

- ・企業側からの本校学生の採用ニーズは増加しているよう感じる。時代の変容を先取りした教育内容を引き続き検討してほしい。
- ・同郷の先輩後輩関係を通して、より良い就職につなげられる仕組みの提供を期待する。

5 学生支援

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・進路支援を積極的に行い個別相談体制も構築されている。学費減免制度や奨学金制度も整備し、経済支援を行っている。 ・学校が今後も繁栄していくためには保護者との連携が重要と考える。 ・適切な評価の実施のために、評価項目を日本人学生と留学生とで分けるのはどうか。 ・在校生支援については適切であるが、卒業生（特に外国人留学生）へのより一層の支援の充実を。 					

6 教育環境

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	5	4	3	2	1
林	5	4	3	2	1
石坂	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設に関しては、安全面、衛生面で環境が整い、学びの場として十分な機能である。 ・一方で、今後はより一層オンラインの教育環境は重要となるため、インターネット環境の整備をはじめとする DX の取り組みは重要である。 					

7 学生の募集と受け入れ

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	⑤	4	3	2	1
林	⑤	4	3	2	1
石坂	⑤	4	3	2	1
山崎	5	④	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・学校案内等教育方針や教育内容、カリキュラムはわかりやすく適切に周知されている。 ・コロナの影響で外国人募集については厳しい状況と思われるが、高い就職率や洗練されたカリキュラム等学校の魅力が伝わる募集活動を積極的に実施することが重要である。 ・コロナ禍という特殊事情が続くが、これまでの取り組みは評価できる。パンデミックの早期収束を期待したい。 					

8 財務

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	⑤	4	3	2	1
林	5	④	3	2	1
石坂	⑤	4	3	2	1
山崎	⑤	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・会計士による監査が適正に行われている。 ・財務状況はホームページにて適切に情報公開されている。 ・コロナ禍という特殊事情が続くが、これまでの取り組みは評価できる。パンデミックの早期収束を期待したい。 					

9 法令等の遵守

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	⑤	4	3	2	1
林	⑤	4	3	2	1
石坂	⑤	4	3	2	1
山崎	⑤	4	3	2	1

コメント
<ul style="list-style-type: none"> ・法令順守は教職員で共有され、適切に運営されている。 ・個人情報保護については、プライバシーポリシー、情報保護管理規定を設け法令順守に努めている。

10 社会貢献

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
岡田	⑤	4	3	2	1
林	⑤	4	3	2	1
石坂	5	④	3	2	1
山崎	⑤	4	3	2	1
コメント					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業レベルでも社会問題を取り上げ議論する等、学生が社会問題に興味を持ち地域理解を深める努力をしている。 ・学生のボランティア活動を積極的に推奨している。 ・学校長が行政や商工会議所等に自ら出向き、地域の情報を集め、学校としての社会貢献のあり方を常に研究し実践している。 ・商工会議所をはじめ地域の団体と連携協定を締結するなど、地域とのかかわりを積極的に推進している。 					

5. 総評

コロナ禍により学生募集が課題となっているが、一層の学業成果をあげ、就職率の向上を図ると共に、産学官連携を強化していただきたい。

自己点検・評価結果は、概ね適正で妥当と評価できる。教育サービスは、適正に提供されており、学校運営も適正であることが確認できた。各項目の評価については、全体的に高い数値であり、学校として良く取り組んでいる印象を受けた。今回見えてきた課題について、今後も対策をお願いしたい。

以上

2022年8月23日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ

学校関係者評価委員会